



福島県中小企業組合士会

会長 白木 貴

福島県中小企業組合士会 創立40周年を迎えて

福島県中小企業組合士会は、令和3年6月をもちまして創立40周年を迎えることができました。これも、ひとえに会員の皆様と福島県中小企業団体中央会の強力なバックアップによるものであり、深く感謝申し上げます。

さて、中小企業組合士制度は、「1組合1組合士～組合のあしたを拓く組合士～」を合言葉に、昭和49年に中小企業庁の後援を得て創設されました。現在、中小企業組合士の称号を持つ人は全国で約3,000名おり、中小企業組合の発展を目指し、それぞれの分野で活躍しています。

当福島県中小企業組合士会は、中小企業組合士の自己啓発と福利増進を図るとともに相互研鑽により資質の向上、組合の健全な発展に資することを目的として、昭和56年6月15日に設立されました。初代志賀会長以下、桐山会長、河野会長、吾妻会長、豆腐谷会長と受け継がれ現在に至っております。現在は、県内の中小企業組合に勤務する事務局職員や中央会の職員、商工中金の職員など40名が加入しています。

さて、わが国の中小企業組合士をとりまく環境は、組合数の減少や組合士の高齢化により会員数も減少傾向にあり、また、世界的な感染症の影響により本来の活動も大きく制限されるなど、今までに経験したことのない厳しい環境が続いております。このような中、組合を継続していくために、新たな発想や多角的な視点での事業への取り組みで、組合における組合士の存在がますます重要な役割を果たせると思います。

世界的にも新たな時代に向けた転換期を迎え、柔軟な対応が求められる環境にあります。組合士会創立40周年を機に、組合活動の発展を支える中小企業組合士の仲間の輪をさらに広げ、新しい時代を切り拓く中小企業組合の発展を目指していききたいと思います。

今後とも、関係各位のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。